



千葉県内で野生カモ類の糞便から 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N1亜型)が検出されました。

高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため、県内で実施している野生カモ類の糞便のサーベイランス検査において、採取した糞便検体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が検出されました。今シーズンは既に国内各地の農場や野鳥から鳥インフルエンザウイルスが確認されています。引き続き厳重警戒をお願いします！

塵埃侵入防止をお願いします！

事例：

乾燥し塵埃が舞いやすい環境下において換気をした後に入気口周辺に死亡鶏が分布していた事例が見られた。

対策：

農場に塵埃が大量に侵入する状況避けるため、

- ✓ ウインドウレス鶏舎であれば、フィルターを設置
- ✓ 開放鶏舎であれば、乾燥環境下における散水・消毒が有効ではないか。



✓ 入気口フィルター



✓ 細霧装置

（鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議資料より抜粋）